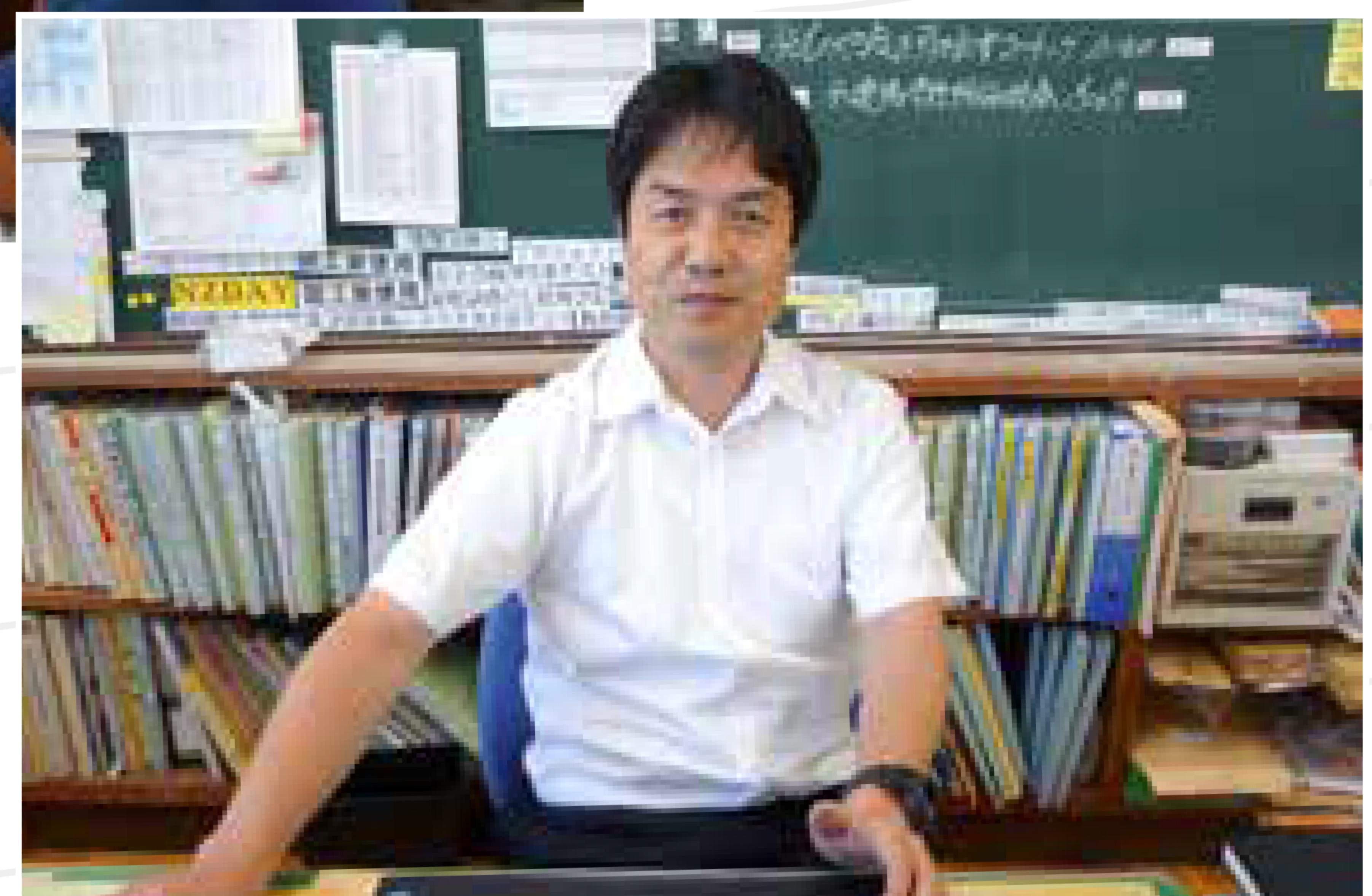


修了生からの
お便り



学び直しの場



院で学ぶ機会を得ました。大学院では、私の専門教科である算数・数学を学ぶため、学習臨床コースの布川和彦先生のゼミを希望しました。

当時、算数の学習で「割合」の理解が難しいことが指摘されていました。そこで、系統性の実感と割合の理解の促進を図るため、研究テーマを「統合的な授業における比例的推論の発達に関する研究」とし、「2本の数直線」をツールとした算数授業の改善について研究しました。在学中は、学会発表や修士論文作成など、布川先生からご指導いただきながら充実した日々を過ごすことができました。

教職14年を経て、上越教育大学大学院で学ぶ機会を得ました。大学院では、私の専門教科である算数・数学を学ぶため、学習臨床コースの布川和彦先生のゼミを希望しました。

当時、算数の学習で「割合」の理解が難しいことが指摘されていました。

そこで、系統性の実感と割合の理解の促進を図るため、研究テーマを「統合的な授業における比例的推論の発達に関する研究」とし、「2本の数直線」をツールとした算数授業の改善について研究しました。在学中は、学会発表や修士論文作成など、布川先生からご指導いただきながら充実した日々を過ごすことができました。

今年の4月から、長岡市立希望が丘小学校に勤務しています。算数の授業は担当していませんが、創立40周年記念事業や各学年の総合学習の手伝いなど、学校と家庭や地域のパイプ役として、日々奔走しています。

私は、子どもはもちろんですが、大人にとっても学び直しは大切だと思っています。上越教育大学大学院はそれをサポートしてくれるすばらしい場です。今ある教職スキルをさらに高めたい方に、ぜひお勧めします。



佐藤 満
(さとう みつる)

新潟県新潟市出身（現在は見附市在住）。平成20年3月修了後、新潟大学教育学部附属長岡小学校に勤務。その後、南魚沼市立北辰小学校教頭を経て、燕市教育委員会に指導主事として勤務。現在は、長岡市立希望が丘小学校に教頭として勤務し、校訓である「希望 友愛 不屈」の実現を目指している。

進めました。勤務3年目には、全国学力・学習状況調査で、市内全小中学校全ての教科の平均点が、全国を上回るという目標を達成することができます。学校・家庭・地域・行政が力を合